

施策番号 1-2-1	施策名 地域内循環の推進と商工業の振興	基本目標	農業を軸とした活力と賑わいのあるまちづくり			
		政策名	農業と連携した活力ある商工業と観光物産の振興			
	主管課	商工労政課	課長名	仲野 裕司	内線	247
	施策関係課	魅力創造課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果	
農業を軸とした産業連携による商工業の振興及び企業誘致と中心市街地活性化による地域内経済循環をすすめます。		商工業者・工業系企業	<ul style="list-style-type: none"> ・町内消費を拡大し、中心市街地活性化を図る ・産業連携による地域内経済循環を図る ・企業誘致・支援による工業団地内企業数の維持・拡大を図る 				雇用・税収の確保 町内消費の増加	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 製造品出荷額	経済センサス(工業統計調査)	億円	848	732	756	860	900	
② 商品販売額	経済センサス	億円	795	795	795	700	700	
③ 工業用地利用率(工業用地利用面積)	商工労政課(旧商工観光課)調べ	% m	95.0 1,904,706	94.6 1,897,066	95.5 1,915,094	96.1 1,928,317	95.0 1,924,541	
④ 工業団地企業数	商工労政課(旧商工観光課)調べ	社	279	307	313	313	284	
成果指標設定の考え方	① 段階的に900億円を目指す。② 700億円以上を目指す。 ③ 新工業団地造成に伴う分譲を想定 ④ 新工業団地造成等に伴う新規立地企業を想定							

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費(千円)	563,271	734,292	518,155
人工数(業務量)	2.7822	1.5606	1.4767

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
① 2020年度の成果評価	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	③工業用地利用率は既存団地内企業の一部土地利用が進み、④工業団地企業数は、既存団地内に新規立地及び新規事業立ち上げにより増加したが、他の項目は大きな環境変化がなく成果としては概ね変わらなかった。
② 2022年度の目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	①、③、④：現在の工業団地面積の約96%に企業が立地・活用しており、今後の企業数や土地利用の増加については、新たな団地造成により目標が達成できる。 ②：新型コロナウイルス感染症の影響による売り上げ減少がみこまれるが、新しい生活様式に沿った経営スタイルの構築と。中心市街地商店街の活性化により達成すると思われる。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
① 施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	芽室駅前プラザ維持管理事業 企業誘致促進対策事業 町中小企業融資事業 雇用・労働関係相談対応事務	② 施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③ 事務事業全体の振り返り(総括)	<ul style="list-style-type: none"> ・芽室駅前プラザ維持管理事業において、中心商業地域の商業及び集客の核施設である「めむろ〜」の適正な維持管理を行っている。 ・企業誘致促進対策事業において、立地企業に対し優遇措置を図り企業の存続化を図っている。 ・町中小企業融資事業は、資金供給等による町内企業の存続を目的とした事業で、昨年度は特に、新型コロナウイルス感染症により経営に影響を及ぼした町内企業に対して、経営安定に資する金融の円滑化を図っている。 ・雇用・労働関係相談対応事業において、企業の労働力確保と町内での就職支援のため開設した芽室町ハローワークを運営し、企業と求職者とのマッチングが進んだ。また、雇用促進住宅の供給を開始し、短期的利用を中心に企業雇用労働力確保に資した。 ・芽室東工業団地造成事業にあっては、土地利用の調整が難航し新団地造成ができず企業誘致活動に影響を及ぼした。 		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した
- E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の長期化により、新たな経営スタイルの構築が必要とされる。 ・中心商業地域の空き店舗の増加により、商店街形成に影響を与え消費流出がさらに進む。 ・東工業団地の分譲地不足のため、町内立地希望企業が町外工業団地を選択する可能性がある。 ・中小企業の労働力不足が深刻化し、安定した経営が厳しくなる。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗対策など中心市街地の活性化 ・企業の労働力確保対策 ・新たな工業団地の造成

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症により影響を受けている企業に対する支援。 ・ネット通販の普及及び中心市街地に空き店舗、空地が点在し、消費流出に拍車がかかることから、地域内経済循環の推進と空地、空き店舗を活用した商業集積の取り組みなど、中心市街地の活性化を図る。 ・新工業団地の造成を目指した取り組みを推進し、立地企業数及び製造品出荷額の増加を図る。 ・町内企業の労働力不足解消のため、芽室町ハローワークの周知と雇用促進住宅を供給し、企業を支援する。
--

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	成果指標等から、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	<ul style="list-style-type: none"> A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した 					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	ハローワークの色々な取り組みや、(中心市街地外であるが)カフェや個人のお店ができて活性化してきたと思うので「C前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標は、「地域内循環」と銘打っているのに、域内の指標を入れた方がいいのではないか。・成果指標に空き店舗の推移を入れてはどうか。 ・中心市街地の範囲(定義)については、駅前に集中させなくても、もう少し広い観点で考えてもいいのではないか。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けているサービス業や小売業に対して手厚い支援が必要ではないか。 ・めむろーど北側エリアをはじめとする空き地、空き家対策は民間ではなく、町主導での再整備が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した 					